

## 下校時刻一覧

登校時間は、8時5分から8時15分です。  
8時20分に各クラスで、朝の会が始まります。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
17	月	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35
18	火	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35
19	水	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35
20	木	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35
21	金	12:00引き渡し	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35
24	月	A13:35 B14:00	A13:35 B14:00	A13:35 B14:00	A14:30 B14:55	A14:30 B14:55	A14:30 B14:55
25	火	13:30	13:30	13:30	14:50	14:50	14:50
26	水	A13:35 B14:00	A13:35 B14:00	A13:35 B14:00	A13:35 B14:00	A13:35 B14:00	A13:35 B14:00
27	木	13:30	13:30	13:30	13:30	14:35	14:35
28	金	A13:35 B14:00	A13:35 B14:00	A14:30 B14:55	A14:30 B14:55	A14:30 B14:55	A14:30 B14:55
31	月	A14:00 B13:35	A14:00 B13:35	A14:00 B13:35	A14:55 B14:30	A14:55 B14:30	A14:55 B14:30

各クラス、A、Bの2グループに分かれます。Aグループが給食当番の週は、Bグループが掃除当番になります。Aグループが掃除当番の週は、Bグループが給食当番になります。Aグループ、Bグループについては、各クラスからお知らせいたします。

## 登下校について

暑い日が続きます。特に、今年は、例年夏休みの期間にも登校する日があります。炎天下に登下校することがありますので、子どもたちには、次のように指導しています。

### 1. マスクについて

マスクですが、登下校時には、友達と近距離で話をしない。友達と一緒にいる場合は、ソーシャルディスタンスをとることができる等の条件が守れるようにすることで、マスクをしないでもよいと指導しています。子どもたち同士で、「マスクをしてない。」と指摘しあうこともないように、話をしていきます。

### 2. 水分補給

登下校中に水分補給のために、水筒の中身を飲んでよいと話しています。ただし、歩きながら飲むのではなく、安全な場所で、飲むときは止まって飲むように指導しています。



# 学校だより 8月

www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/



令和2年7月31日

荻子田小学校

月	火	水	木	金	土	日
27	28	29	30	31	1	2
3 夏季休業	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17 テレビ朝会	18 カウンセラー 来校日午後	19	20	21 総合防災訓練 引取訓練1年 お出かけ防災 教室 3年	22	23
24 給食開始 教育実習	25 リーダー会議 クラブ	26	27 委員会 6年個人写真 カウンセラー 来校日午前	28 フレンドチー ム	29	30
31	1 カウンセラー 来校日午前	2	3	4	5	6

## 9月の主な予定

9月2日(水)～9月4日(金)

授業参観(ZOOMで)

※詳細は後日、別紙でお知らせいたします。

9月10日(木) 内科検診

9月14日(月) 三浦体験学習 5年

9月15日(火) 三浦体験学習 4年

9月16日(水) 眼科検診

9月17日(木) 18日(金)

鎌倉宿泊体験学習 6年

9月24日(木) 耳鼻科検診

9月25日(金) 八景島シーパラダイス遠足 3年

※個人面談を次の日程で行います。

9月29日(火) 30日(水) 10月1日(木)

2日(金) 5日(月) 6日(火) 8日(木)

## 学校閉庁日について

夏季休業中は、学校は閉庁しています。8月3日(月)～8月16日(日)の期間は、電話での対応も行っています。もし、緊急での連絡が必要な場合には

北部学校教育事務所指導主事室 944-5978

へご連絡ください。

# 子どもたちの活動から

## 委員会活動スタート 5年生・6年生

5年生・6年生による委員会活動がスタートしました。学校での生活をより良いものにすることができるよう、5年生、6年生の子どもたちが様々な活動に取り組んでいます。今年、委員会活動にもいろいろと制約があります。集会委員会は、今までのように集会活動を行うことができません。そこで、校内放送を利用して、どのように活動できるかを模索しています。他の委員会も、今まで通りには活動できない部分があります。それでも、全校のみんながより良い学校生活を送ることができるように、創意工夫しています。

## 早稲田大学オーケストラとコラボして

### 6年生

6年生が音楽の学習の一環として、ZOOMを利用して、早稲田大学オーケストラの学生さんたちとコラボレーションすることになりました。オンラインを利用しての活動で、子どもたちは、いろいろな楽器について教えてもらったり、演奏の仕方について聞いたりすることができました。

## まち探検 2年生

2年生が、学校の周囲の公園に行って生き物探しをしました。事前に生き物について調べ、その生き物が過ごしやすい部屋（虫かご）を準備して行きました。学習を通して、小さな生き物に対して興味関心を持つことができるようにしていきます。

## 咲いた、実った 1年生・2年生・3年生

1年生が育てているアサガオがきれいに咲きました。種を植えたころから気温が高く、早く成長したように感じました。1年生の子どもたちは、その成長の早さに驚きながら、毎日世話を続けてきました。7月に入ると、次々に花が咲き始めました。

1年生のアサガオだけでなく、2年生が育ててきた野菜も実り、子どもたちはとても嬉しそうでした。3年生も、ハウセンカやマリーゴールド、ヒマワリがきれいな花を咲かせています。植物の成長を観察する力も学年が上がるたびに成長しています。

## 頑張った 4年生

4年生が、この1か月頑張ったのが、漢字の練習です。苦手意識がある子どもも多くいたのですが、みんなで励まし合い漢字を一生懸命に覚えました。そして、50問の漢字テストでは、良い結果を出すことができている子が続出しました。

漢字を覚えることを通して、達成感を味わうことができました。

## 出前授業 株式会社明治 3年生

3年生は、初めての総合学習で、学校のため、自分たちの暮らす荏子田の町のために「荏子田コロナ勝つぞうプロジェクト」を始めました。手洗いやマスクの正しいつけ方について調べ、校内外にポスターや社会的距離を保つためのカードを作りました。

今回は、学習のまとめとして株式会社明治の方を2名お招きして、正しい手洗い、うがいについて体育館で学習しました。

## ZOOMで授業参観

9月にZOOMを利用して、授業参観を行う予定です。この状況の中で、なかなか子どもたちの学校生活をご覧いただき機会を作ることが難しくなっています。少しでも、子どもたちの学習する姿を見ていただきたいと思います。詳細については、後日お知らせいたします。

## 8月の献立変更について

24日（月）

鶏ごぼうごはんの具に白ごまと削り節（出汁として）を追加します。

26日（水）

揚げパンにきなこを追加します。

野菜のスープ煮の胡椒を黒胡椒に変更します。また、チキンブイヨンを追加します。

## オンラインだけでなく

7月に入り、ようやく子どもたちが元気に校庭で遊ぶ姿や、教室で学習する姿を見ることができるようになりました。それでも、「みんなで集まる」ような活動は行うことができませんし、大きな声を出すような活動もできません。いろいろと制限のある中で、教育活動が進んでいるというのが現状です。子どもたちは、多くの制約がある中でも、学校での生活を楽しもうと、いろいろと工夫をしています。また、いろいろな約束を守って、日々を送っています。

学校の特徴は、集団で過ごすということです。オンラインでも学習を進めることはできるということは、この数か月の間に、様々なことが試みられたことで、分かってきました。実際、大学は、夏休みまでの期間、ずっとオンラインで教育活動を行っている大学が多いと聞いています。もし、オンラインですべてを進めることが可能であれば、時間的な制約も、空間的な制約もだいぶ少なくなってくると思います。また、個別への対応という点でも、教室に集まっての学習よりも有利な点を見つけ出すことができると思います。であるならば、学校という存在は必要なくなってくるのでしょうか。

集団で学ぶことの利点の一つは、相互に刺激しあうことにあると思います。直接的に議論をすることやプレゼンテーションをすることは、子どもたちに多くの刺激を与えています。友達の話に耳を傾け、自分の考えと比較し、自分の考えを修正したり、補完したりすることは、子どもたちの思考力や表現力を高める上で、大きな働きをしています。しかし、これらのことは、オンラインでも実行することが可能です。プレゼンテーションは、オンラインの方が慣れてくるとオンライン上のソフトの機能を利用することで、分かりやすく行うことができる面があります。では、実際に教室で過ごすことに意味がある

のでしょうか。

教室の中には、多くの情報が詰まっています。それは、友達との会話であったり、友達のさりげない行動であったりします。友達と交わすさりげない会話から、刺激を受けることも多くあります。本を読んでいる友達がいれば、何を読んでいるのか気になったり、折り紙を折っている友達がいれば、その作り方が気になったりします。休み時間に鉄棒でいろいろな回転技に挑戦している友達がいれば、一緒にやってみたくなる子どももいるでしょう。

子どもたちが受ける刺激は、必ずしも目的が明確な時だけではないと思います。学校という集団の中では、目的などなく、生活の中に様々な刺激が存在しています。低学年の教室を見ていると子どもたちは、いろいろと刺激しあっていることが分かります。姿勢の良さを褒められる子がいると、急いで、自分もよい姿勢になろうとします。手を挙げて答えている子を見ると、自分も答えたいと思っている様子が分かります。高学年になると、さりげなくしゃべった事柄が刺激になり、自分も頑張りたいと思うこともあるようです。

オンラインを活用することの利便性を否定する気はありません。これからは、オンラインの活用も研究していかなければならないでしょうし、有効に活用することを考えていかなければならないと思います。しかし、学校という集団での活動が持つ特性も、活かすことを考えなければならぬと思います。子どもたちが、良い意味で刺激しあい、自分を向上させるきっかけを作り出していくことができる場として、教室や校庭が存在することができるようにしていきたいと思います。

（青木 勇）